

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県内での新型コロナウイルス検査の新規陽性者数は高止まりの状況にあり、特に松山市では、依然として連日多くの陽性者が確認されているほか、隣接する市町でも感染拡大の兆しが見られます。県民の皆様には引き続き、①県外との不要不急の出張や往来の自粛、②混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出自粛、③ルールを守った会食など感染回避行動の徹底をお願いします。感染の拡大を防ぐため、発熱に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避け、あらかじめかかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター(089-909-3483)」に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ➡



発生動向の概況

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第4週10.4人から第5週8.8人と減少しましたが、冬から春にかけてウイルス性の感染性胃腸炎が増加する傾向がありますので、引き続き調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)、手袋、マスクを着用し、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系の漂白剤)で消毒しましょう。

梅毒の届出が6例(第1週分含む)ありました。この疾患の原因菌は梅毒トレポネーマで、大部分は性行為により感染します。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、先天異常が起こることがあります。早期発見のため、不安のある方は県内各保健所で実施している電話相談や無料匿名検査をご利用ください。また、梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方(パートナー等)にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

二類感染症：結核 1例

五類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例(90歳代女性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(80歳代女性)

梅毒 5例(20歳代女性、30歳代男性2例、30歳代女性、40歳代男性 2022年県内累計11例)

播種性クリプトコックス症 1例(80歳代男性)

新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 3,329例

*その他、梅毒の届出が第1週に1例、新型コロナウイルス感染症の届出が第2週に21例、第3週に98例ありました。

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 0.7	横ばい。
感染性胃腸炎	➡ 8.8	減少。
突発性発しん	➡ 0.4	横ばい。

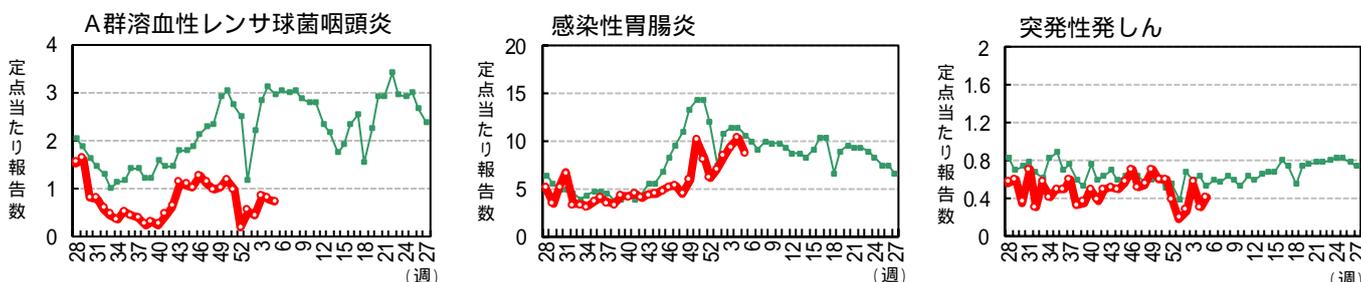
解析評価委員のコメントから

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：[東予] 少ないです。[中予] 横ばいです。[南予] 少数発生しています。

感染性胃腸炎：[東予] 軽症が多いですがまだみられます。[中予] やや減少しています。[南予] 多数発生していますが前々週よりは減っています。

突発性発しん：[東予] 横ばいです。[中予] 横ばいです。[南予] 少数発生が続いています。

過去30週の動向 (—○—：過去30週の動向、—■—：過去10年の平均)

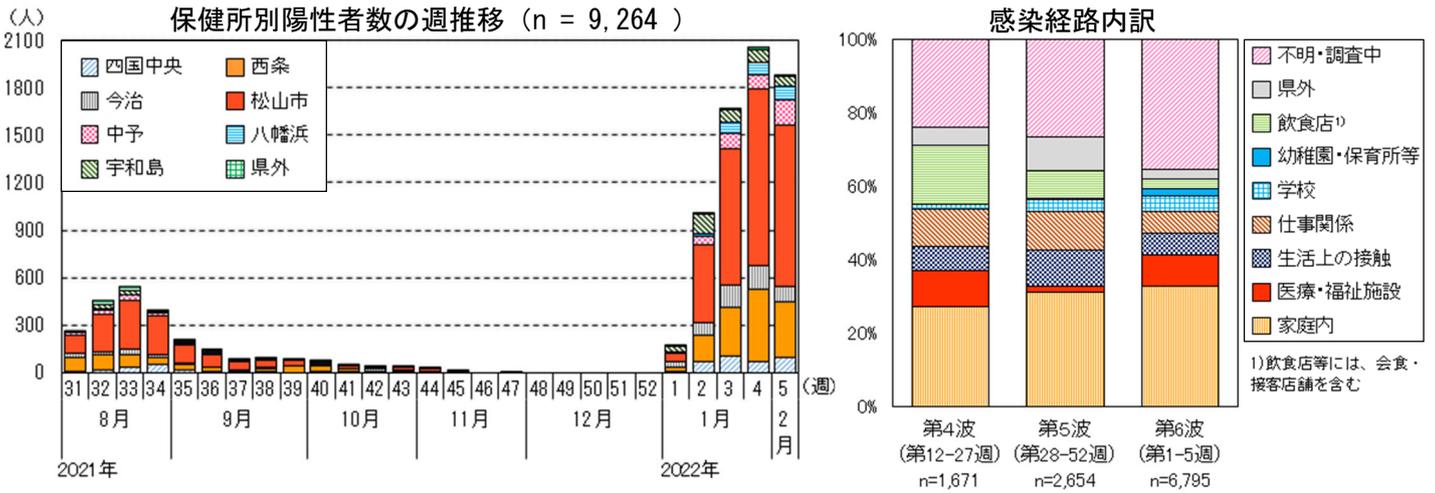


(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

-愛媛県における新型コロナウイルス感染症の発生状況- 令和4年2月8日現在

新型コロナウイルス検査の陽性者数は松山市保健所、西条保健所を中心に多い状況が続いています。また、中予保健所では第5週158人と第4週95人の1.7倍に増加しました。年齢別にみると、20歳代が321人(17.1%)と最も多く、次いで30歳代、40歳代がともに268人(14.3%)、70歳代以上が244人(13.0%)と依然として幅広い年代で陽性者が確認されています。

第6波における感染経路内訳をみると、第4波、第5波と同様に家庭内が最も多く約3割を占めていますが、第5波に比べ医療・福祉施設のほか、学校、幼稚園・保育所等での感染事例も増加しています。感染の拡大を防ぐため不織布マスクを正しく着用し、流水と液体せっけんでのこまめな手洗い、手指消毒等の基本的な感染対策を徹底しましょう。職場等の屋内では特に人との距離を十分にとり、定期的な換気を励行しましょう。



・集計期間：令和3年8月2日から令和4年2月7日公表分。
 ・愛媛県の公表データを基に陽性者の居住地を管轄する保健所別に集計しています。

病原体検出情報

令和4年2月8日現在

■ 過去5週 検出病原体

(2022年1月3日以降採取検体)

○ 過去5週で新たに検出された定点把握疾患に係る病原体はありません。

■ 月別病原体検出結果

検体採取月		2021				2022		合計
		9	10	11	12	1	2	
ウイルス	コクサッキーA6	8	3	8	1			20
	ライノ			1				1
	ノロ				2			2
ウイルス計		8	3	9	3			23
細菌	A群溶レン菌				1			1
細菌計					1			1

■ 臨床診断別検出結果 (2021年12月以降採取検体)

検出病原体	A群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	手足口病	合計
コクサッキーA6			1	1
ノロ		2		2
ウイルス計		2	1	3
A群溶レン菌	1			1
細菌計	1			1

注) 表中の検出数は2月8日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2022年1月

患者報告数		STD定点									基幹定点						
		性器クラミジア感染症			感性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症				メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性				
保健所別	四国中央	1		1													四国中央
	西条	1	1		12	10	2				2	2					西条
	今治				1	1		1	1		5	5					今治
	松山市	11	1	10				3	1	2	1		1	-	-	-	松山市
中予	中予													2		1	中予
	八幡浜													2			八幡浜
月推移	宇和島													2			宇和島
	愛媛県	13	2	11	13	11	2	4	2	2	8	7	1	6		1	愛媛県
	1月前	22	8	14	15	11	4	3	2	1	8	5	3	11		1	1月前
	2月前	16	3	13	14	10	4	9	7	2	3	2	1				2月前
年齢別	3月前	24	10	14	14	12	2	10	8	2	6	6		14			3月前
	0																0
	1-4																1-4
	5-9																5-9
	10-14																10-14
	15-19																15-19
	20-24	9	1	8				1		1	1	1					20-24
	25-29	2	1	1				1		1	3	2	1				25-29
	30-34	2		2	1	1											30-34
	35-39				1	1		1	1		1	1					35-39
	40-44				3	3		1	1								40-44
	45-49				1	1											45-49
	50-54				2	2										1	50-54
	55-59										1	1		1			55-59
	60-64				1		1				2	2					60-64
	65-69				1	1											65-69
	70-				3	2	1							5			70-

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	1.0		1.0													四国中央
	西条	.5	.5		6.0	5.0	1.0				1.0	1.0					西条
	今治				1.0	1.0		1.0	1.0		5.0	5.0					今治
	松山市	2.8	.3	2.5				.8	.3	.5	.3		.3	-	-	-	松山市
中予	中予													2.0		1.0	中予
	八幡浜													2.0			八幡浜
宇和島	宇和島													2.0			宇和島
	愛媛県	1.2	.2	1.0	1.2	1.0	.2	.4	.2	.2	.7	.6	.1	1.0		0.2	愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は2月9日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2022年 第3、4週 (2022.1.17 ~ 1.30)

(定点当たり報告数)

	インフルエンザ ¹⁾	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎 ²⁾	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ⁴⁾
3週	愛媛県	.1	.1	.8	9.4	.1	.1		.6				1.3						
	近畿県	香川県		.4	.4	10.6	.2	.6		.3	.2								
		徳島県		.3	.3	6.9	.1	.7		.4									
		高知県	.0	.3	.6	6.6	.1		.0	.5				.3	.1				
	全 国	.0	.5	.2	.6	8.0	.1	.3	.0	.3	.1	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0	
	北海道		.9	.3	.8	1.8	.2	.1	.0	.2	.0	.0		.0		.0			
	東北	.0	.3	.2	.6	8.5	.1	.3	.0	.4	.1	.0		.2		.0		.0	
	関東	.0	.1	.1	.4	8.4	.1	.2	.0	.3	.1	.0	.0	.2		.0		.0	
	甲信越北陸	.0	.4	.3	.8	6.8	.1	.4	.0	.2	.3	.0		.1	.0	.0		.0	
	東海	.0	.2	.1	.4	7.4	.1	.1	.0	.2	.0	.0		.1		.1	.1		
近畿	.0	.2	.1	.4	8.3	.1	.2	.0	.2	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0			
中国四国	.0	.3	.2	.5	7.4	.1	.7	.0	.4	.1	.0		.2	.0	.0				
九州沖縄	.0	2.5	.4	1.3	10.6	.1	.7	.0	.5	.1	.0	.0	.1	.0		.0			

(1.26集計)

4週	愛媛県	.0	.1	.1	.8	10.4	.1	.1	.0	.3			.9						
	近畿県	香川県		.0	.2	12.9	.2	.2	.0	.2	.0	.1							
		徳島県	.0	.4	.1	5.0	.1	.3		.3	.0								
		高知県	.0	.1	.6	6.9	.2	.0	.0	.4									
	全 国	.0	.5	.1	.5	7.1	.1	.3	.0	.3	.0	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0
	北海道	.0	.8	.2	.7	1.6	.1	.0	.0	.2		.0	.0	.0	.0				.0
	東北	.0	.3	.2	.5	7.4	.1	.2	.0	.3	.1	.0		.2		.0			
	関東	.0	.0	.1	.3	7.4	.1	.2	.0	.3	.0	.0		.2		.0		.0	
	甲信越北陸	.0	.4	.2	.8	7.0	.1	.5	.0	.2	.2	.0		.2		.0		.0	
	東海	.0	.2	.1	.3	7.2	.0	.1	.0	.2	.0	.0		.2					
近畿	.0	.2	.1	.3	6.4	.1	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.1	.0			.0		
中国四国	.0	.3	.2	.5	7.4	.1	.5	.0	.2	.0	.0		.2						
九州沖縄	.0	2.3	.3	1.1	8.8	.1	.5	.0	.4	.0	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.0	.0	

(2.2集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。

4) オウム病を除く。

